

岸和田市スマートシティ推進協議会参画企業募集 評価基準

評価項目	配点	評価の視点
(1) 参加資格		
① 提出書類	-	参加表明書及び企画提案書類に不備がない。
② 提案の適合性	-	スマートシティ構想及び部会における協議内容に基づく課題感及びサービスイメージ等との整合性が確保されている。
③ 業務実績	-	「スマートシティ推進に係る実証事業等」、または「自治体 DX の推進に係る取組」等において、2つ以上の実績がある。
④ 事業推進力	-	本市課題解決のため、本市と連携し、提案ソリューション（技術、製品、サービス、システム等を含む）を用いて実証実験の取組を主体的に行える（実施体制含む）。
(2) 企画提案		
① 岸和田市におけるスマートシティへの理解	10	<ul style="list-style-type: none"> 岸和田市スマートシティ構想及び部会で議論した内容を熟知しているといえる。 「岸和田市スマートシティ構想」の推進及び部会の取組（WG 組成後の実証等）実現に寄与する観点が記載されている。
② 本市における地域課題解決に関する適格性	10	<ul style="list-style-type: none"> 解決をめざす課題は、市及び市職員が抱えている課題感等として確からしいものである。 提案された解決手法の推進によって得られるメリット、本市における課題解決に資する根拠が明確化されている。
③ 実行性・実現可能性	30	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容は、課題解決に向けた具体的な手法として適切であり、実施に向けた進め方やイメージは明瞭さを備えるものである。 提案内容実現に向けて必要な体制が構築されており、これまでの関連実績・経験が提案の信頼性を支える根拠となっている 実証に留まらず実装を見据えた計画が組まれている。また実現に向けたスケジュールは現実的で実行上のリスクも把握している。
④ 提案内容の発展性・汎用性・持続性	30	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験及び実装に係る内容は、分野間・地域間を横断したデータやサービスの接続、相互流通（特に、ORDEN、my door OSAKA）との連携、横展開の可能性を有するものである。 事業者等が主体となり、取組を中長期的に牽引・継続・発展させていくことが期待できる。
⑤ 追加提案	10	追加提案の実行によって提案内容、既存サービス（及び既存事業）の発展性がイメージできる。
⑥ ヒアリングにおける説明能力 （ヒアリング実施時評価）	30	<ul style="list-style-type: none"> 適切な課題設定がなされており、理論展開や結論までの流れに筋が通っている。 事業者等の提案における各主張に関して根拠の提示ができています。 質疑に対して適切に応答できている。 リーダーシップを発揮し主体的かつ自立的に事業を推進する姿勢がみられる。
合計	120	

- ・事前審査では、「(1) 参加資格」及び「(2) 企画提案」の①～⑤について事務局で評価し、本審査では、「(2) 企画提案」の①～⑤及び⑥について、委員の評価を平均したものを合計し評価点とする。
- ・評価点は小数点第二位を切り捨てる。